

神奈川県電気電子情報工学科 同窓会会報

同窓会会報 No.22

平成26年9月発行



新3号館概観



近藤和船研究所
コレクション

平成26年3月 新3号館完成



実物大部分
復元和船



神奈川県展示ホール

平成26年3月に新3号館が完成しお披露目がありました。省エネルギーや環境に配慮したエコ・キャンパスの名の元に地中熱利用の空調システム、太陽光発電を利用した照明設備、屋上緑化等、新しい形のキャンパスを作り上げる最初の一步となる校舎です。正面玄関には米田吉盛先生の銅像を配し、1階には歴史民俗資料学科の展示室、2~4階には本学科の学生も学ぶ講義室が配置されています。ぜひ一度新しい3号館をご覧ください。

発行先：電気電子情報工学科同窓会事務局 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川県内
TEL：045-481-5661（内線3793）FAX：045-491-7915（大学代表）
E-mail: dousokai@or.tv <http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

会長挨拶 土肥健一（昭和41年卒）



同窓会会長 土肥 健一

平成26年度電気同窓会会報の発行にあたり、会員ならびに教職員皆様の本会活動へのご理解とご協力に対し、ここに改めて厚くお礼を申し上げる次第でございます。同窓生夫々の立場での活躍と相互交流が、本会活動を支え活性化するベースであります。更に益々のご活躍ご発展と、変わらぬご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。

私ごとではありますがこの6月、51年振りに神宮球場で大学野球を観戦しました。本学野球部が準優勝した全日本大学野球選手権の愛知学院大学との準決勝戦です。51年前の観戦は当時、森川卓郎投手（S39 卒後広島カープで活躍）を擁して戦った同選手権の慶応大学との一戦でした。当時も今も変わらない、大学の榮譽と威信をかけて戦う選手達の澁刺としたプレーに胸を打たれ、51年前を思い出しながら歓喜いたしました。当時の本学は、野球部など運動部の活躍もさることながら、貿易学科を有する国際性、文系を含めた全学ゼミ制度、単位取得の厳しさ、給費制制度、いち早く実施していた地方受験制度などの特徴を持ち、相応の存在感を有していたように思います。

本学の「神奈川大学」というネーミング、「横浜」という立地そして「建学の精神」により培われた校風などは、比類ない高いブランド性を有しているものと思います。

これからはこの恵まれた環境のなかで、卒業生・在学生一人一人が夫々の立場・フィールドで活躍し社会でのプレゼンスを上げていくことが、本学の成長、発展にとって最も大きな課題であると考えます。

先の野球部の活躍は、本学のプレゼンスを社会に強く示し、そして私達に大きな感動と勇気を与えてくれるものでした。私達同窓会の活動も、一つ一つは地道な小さな活動ですが、目標は同じです。学科授業への会員講師の派遣、セミナー・オープンラボでの講演、就職活動へのアドバイスなどの活動を通して大学・学科の成長・発展に寄与できるよう役割を担っていきたいと思います。

来る10月19日（日）に1年間の同窓会活動の報告と次の事業計画を提案する「平成26年度電気同窓会総会」を開催致します。より多くの同窓生の皆様のご参加と本会についての忌憚のないご意見ご助言をお願いする次第でございます。

以上

電気電子情報工学主任科挨拶 山口栄雄教授



電気電子情報工学科
主任 山口栄雄教授

本年度学科主任の山口でございます。簡単に学科の現況をお伝えします。

平手孝士先生と渡辺良男先生が今年度で定年退職とされます。渡辺先生は予定より一年早めのご退職です。個人的には、平手研究室とは、研究分野が最も近いこともあり、毎年一泊で長時間に亘る院生の合同研究発表会などで交流を深めてきました。また、渡辺先生には、学内深くの複雑な処理にお知恵をお借りするなど多大なご協力を頂いてきました。両先生には感謝の念に堪えません。なお、平手先生の後任は採用できませんが、渡辺先生の後任はパワー系分野の教員を既に公募いたしております。学科としては、2002年の松澤先生以来の新任主宰教員採用となります。

さて、常日頃から、同窓会の皆様には、定期的に学科活性化のためのミーティングを行って頂き、電気電子情報入門やFOCでのOB講演、更には、神大テクノフェスタでの同窓会ブースの設置など、学生、教職員及び学科のためにご尽力頂きありがとうございます。この場をお借りして深謝いたします。ただ、この活性化のためには、理想だけを追い求めても効果が小さくなるばかりですので、現実を直視し、問題点を浮き彫りにし、それに対応することが必要な時期に来ていると思われまますので、少々厳しい学生の状況をお伝えいたします。

ここ十数年で、本学科学生の学力の低下には目を見張るものがあります。十年前には、他学科で分数ができない学生がいると聞き、大変な状況になっているものだと思いましたが、ここ数年、

ついに本学科でも目立つようになってきました。また、分数ができない学生に加え、高校で習っているはずの三角関数、指数対数、虚数、微積分にまで学習分野を広げると、できない(苦手という意味ではない)学生の数は恐ろしく増えます。間違い方の多い例を挙げると、 $\cos(a+b) = \cos a + \cos b$ とし、 $i^2 = -1$ が決め事であることも分かっておらず、また、微積分も公式を覚えても、それをどこに適用すればよいのかわからない。例えば、 $(x^3)' = 3x^2$ はできるが、 $x^3 + x$ を微分しようとする計算が止まってしまう。私が担当している 1 年生後期の基礎電気数学 I (必修科目) では、こういった学生が、全体の三分の一に上ります。

本学工学部では、改組を実施しては、数年ごとに再編の話が繰り返し沸き起こってきます。上記のような事態に対処することを念頭に置いているのですが、残念ながら、これまでは、効果は瞬間限定的なものに終わっています。正直、教員側だけの努力では為す術も無い状況に追い込まれつつあるというのが主任 1 年目の感想です。

平成 25 年度総会報告

平成 25 年度の同窓会総会・懇親会は同窓会設立 21 年目として大学主催のホームカミングデーに合わせ、平成 25 年 10 月 20 日(日)に 20 号館 1 階 112 号室で盛大に行われました。当日は総会開催前に平成 25 年度より副学長に就任された齊藤隆弘教授から大学の近況についての報告会がありました。その後、前主任の木下宏揚教授より本学科の近況報告がありました。本学科は 2012 年 4 月より「電気電子情報工学科」に学科名称を変更いたしました。これは 2012 年度の工学部・理学部リニューアルの一環として実施されました。新しい学科名には「電気、電子、情報分野の新技术に継続的に対応できる基礎学力を備えた技術者を育成し、電気・電子技術、電気・情報技術、電子・情報技術などの複数の分野する力を育む」という想いが込められています。

続いて教員 12 名を加えた約 40 名の参加者で同窓会総会が行われました。土肥健一会長の挨拶の後、司会の秋田琢次副会長からの推薦により議長に臼井健一幹事、副議長に羽山茂幹事が選出され、第 1 号から 5 号議案についての審議が行われました。第 1 号議案として平成 25 年度の事業報告と会計・監査報告がなされ、滞りなく承認されました。第 2 号議案として次年度平成 26 年の活動計画と予算案が説明され、承認されました。第 3 号議案会則改定は第 4 条および第 17 条の改定が審議されました。第 4 号議案は役員変更が提案され、第 3 号・4 号議案共に承認されました。第 5 号議案、その他に関しては特記すべき議題はなく、総会は滞りなく終了いたしました。総会終了後は懇親会が行われ盛況の内におひらきとなりました。平成 26 年度総会は例年通り、大学主催のホームカミングデーに合わせ、平成 26 年 10 月 19 日(日)に開催されますので、皆様誘いの上、ぜひご参加下さい。



平成 25 年度懇親会後の集合写真

皆様の参加をお待ちしております！

学科近況報告

平手先生と渡辺先生が御定年を迎えられます

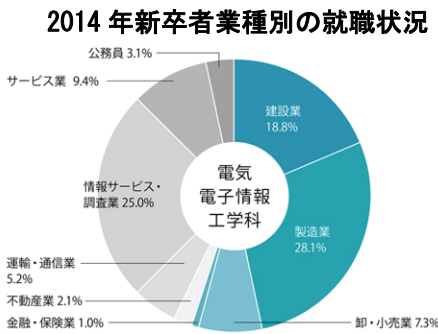
教授 穴田 哲夫 (昭和 44 年卒)

先ず皆様にご報告することは、今年度で平手先生 (半導体分野の後任の補充はできない)、電力関係の要である渡辺先生が御定年となります。是非卒業生の方々にお知らせいただければと思います。また情報システム創成学科と経営工学科の分離に伴って、学生実験スペースを確保するため、5号館の取り壊しに先立って、5号館2階で行われていた3年次の電力関連実験室を23号館の6階に移動しました。

さて、学科の近況報告を考えていた矢先、大手予備校の代々木ゼミナールが2015年春に、全国17都道府県で展開する29校舎のうち、7割にあたる約20校舎を閉鎖するという記事が目飛び込んできました。これは18歳人口の激減が根底にあり、高校生の大学受験の割合が55%の高水準を維持している目立った学生数の減少はあまり気になりませんでした。大学進学率は、今後、多少の増加が期待されるものの、ほぼ頭打ちと予測されており、2018年から始まる18歳人口の大幅な減少は、大学進学者数の減少に繋がり、2031

本学科の就職状況

本学科の就職情報を会員の皆様にお知らせいたします。本学科の2014年3月新卒者の就職の傾向は旧来の電気・電子系である製造業に加えて、昨今の建築ブームにより建築業界の求人も増加傾向にあります。本学科の進路決定率は最終的には89.9%であり、大学内2位の高位置につけております。これも皆様のご協力の賜物と思えます。



※就職データは2014年3月現在

2015年3月卒業予定者の進学希望者を除いた就職内定率は、7月31日現在で学部生67%、院生65%と学内でも高水準です。NEC、沖電気工業やPanasonicなどの電機メーカーを始め、JR東日本・東京電力や日産自動車などにも内定しておりますが、未定の学生もまだまだ多く、就職活動は継続中です。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

主な就職先：※大学院修了者を含む、過去3年間(2011-2013年度)の実績
 日産自動車(株)、スズキ(株)、(株)大林組、西松建設(株)、日本電設工業(株)、東芝プラントシステム、(株)住友電設(株)、IHIプラント建設(株)、日本発条(株)、東プレ(株)、キャノン(株)、(株)京三製作所、ローム(株)、KYB(株)、矢崎総業(株)、中央電気工事(株)、東日本旅客鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、YHK(株)、東京地下鉄(株)、(株)日立ビルシステム、静岡市役所、警視庁

退職された先生の近況報告 ～末武国弘先生～

末武国弘先生は昭和56年に本学に奉職され、平成3年3月まで教授として10年間教鞭をとられました。その間、専門の電波工学に加えて、教育工学に基づく双方向の素晴らしい授業を実施されました。

先生は現在91歳のご高齢ではありますが、毎年3月に開催される本学科主催の懇親会には、ほぼ毎年参加され写真のような元気なお姿を見せていただいております。また、懇親会に参加された際には、毎年のように新しいマジックショーを披露されており、参加者の楽しみとなっております。末武先生の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます (文責:土屋健伸)



懇親会でのご挨拶
(去年撮影)



マジックショーを披露されるご様子
(今年撮影)

年には 48 万人まで減少するそうです。当学科も何らかの準備と対策が必要であり、グローバル化を目指すのか、地元を根を下ろしたローカル化、あるいは規模を縮小して特色ある個性化などのどのポジションを取るかによって今後の対策が変わってくると思います。昔の神奈川大学は、学生寮の充実と授業料の安さから地方出身者が多く、活気のある大学であったことを思い出すのは、私だけではないと思います。

当学科ではハードとソフトの両方を学ぶ唯一の学科であることを売りにしていたが、情報システム創成学科や総合コース（学科ではなく、希望によって好きな学科へ進級可能）の設立や電気・電子企業の社会情勢も影響していると思うが、受験生の伸び悩みの状況が続いています。しかし、偏差値は回復の兆しが見られるので、少しずつ良くなっていると考えています。その一方で、大学院においても院生の減少に歯止めがかからず、学科の活力がなくなりつつあるのが気になっています。

2 部の廃止に伴って、17 研究室から 12 研究室へと教員が削減されるので、平手先生が、定年になっても補充することができません。明るいニュースもあります。それは同窓会活動を通して、在校生への温かい支援を受けて少しずつ活気が戻ってきていることです。企業で活躍している卒業生にお願いして、学部 3 年生の特別講義（90 分の講演料は 3 万円）に力を貸していただき、最新の技術動向や企業で働くことの意義などを説明、さらに就職の面接へのアドバイスやエントリーシートの書き方の注意など、企業側の採用者側からの視点で多くのアドバイスをいただいて非常に助かっています。

また今年度も神奈川大学工学部の技術力を学外に発信するために本学においてテクノフェスタを 10 月 24 日に開催予定です。ここでも同窓会を中心に現役の OG・OB による就職懇談会を開催して、学生への的確なアドバイスをいただいている。今年度のスケジュールは

- (1) 特別講義：後期火曜日 4 限（23 号館 301 教室）
- (2) 同窓会総会：10 月 19 日（日）
- (3) 神大テクノフェスタ：10 月 24 日（金）

学生の就職状況ですが、団塊世代の退職と景気回復を期待してか、今年度は売り手市場とまでは行きませんが昨年までよりは好転しているようです。是非卒業生の皆様には特別講義やテクノフェスタに参加していただけるよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

同窓生の近況報告 -研究とビジネスの狭間で- 河野美由紀(昭和63年卒)

夏季休暇直前に、数年がかりで投稿直前にたどり着いた論文原稿を共同研究者にメール送付し、かといって開放感があるわけでもなく、ぼんやりしているところへ、この原稿を書くことになりました。

学部を卒業後は、医学部の修士課程(医科学専攻)から博士課程を修了し、縁あって、電機メーカーの研究所で約10年間、生体認証や生体計測の研究に従事していました。その後、約2年間は交換留学生よろしく商社でライフサイエンス関連の新規ビジネス開発などに従事し、再び研究所に戻ってから数年が経ちます。

研究者としては、研究費の心配をすることなく、必要とされる新規技術を世の中に出して行くための研究に専念できれば言うことはないのですが、新たに手がけたテーマのいくつかは、自分自身の異動などによって中断せざるを得ず、そもそも研究費の獲得からしてままならない世知辛さです。そして、振り返ってみれば、当時の協力者のフォーメーションは、今ではもう手に入らないということにも思い至ります。

商社での経験やそこで得た人脈は得難いものでしたが、研究時間が失われたこともまた事実でした。不勉強のうちに過ごしてしまった学生時代を思えば、今更何を言うかという気もしますが。

そして、研究所に戻ってから考えているのは、例えば医療現場で必要とされている技術ニーズに気づき、かつ、研究と開発の余地がある(新規技術が必要である)一方で、会社の事業規模と合わない場合などにどうするのかということです。

経営者であれば、利益を上げている分野があれば、そこから将来のイノベーションに向けた研究のタネにお金をつぎ込むという判断もできるわけで、例えば、東レの炭素繊維は、全く事業が見えない段階にあっても技術の将来性を見抜いてリスクマネーを負う決断があったからこそ、ポーイングでの採用に代表される今があると感じています。

では、経営陣を説得できなかった間抜けな研究者はどうするのか。

現実問題を解決する道を選び、そのために必要な資金調達の手筋を考え、組織の内外を問わず、協力してくれる仲間たちとオープンイノベーションの実現を目指して進もうと思っています。

商社時代に培った人脈も力を貸してくれるはずですが、商社での最初の上司と一緒に仕事を始めた当初に助言してくれていたように。

同窓会活動報告

2 年目となった OB による面接指導

昨年実施し好評でした「OB による面接指導」を平成 26 年度も実施いたしました。就職活動最盛期となる 3 年生の 2 月末に、同窓会から OB を派遣し、実際に面接の指導を行いました。企業の面接ではどんなことを聞かれるのか、どう対応すればよいのか等、実際に面接官の経験もある OB からアドバイスが受けられることもあり、今回も大変好評でした。本面接に OB として参加できる同窓会員の方は、是非同窓会役員までご連絡ください。



同窓会員と 3 年生との模擬面接

「神大テクノフェスタ 2013」に

同窓会として 4 年連続参加

12 月、学部及び工学研究所が中心となり、工学部教員によるポスター発表及び企業展示を行っている神大テクノフェスタに、当同窓会は 4 年連続で参加し、学生の将来の進路の相談コーナーを設けました。今回も約 200 名の学生が当ブースに参加し、OB から就職や企業内での生活等のアドバイスを受け、大変好評でした。今年は就職活動の日程も変わり、「神大テクノフェスタ 2014」は 10 月 24 日に計画されています。本同窓会も参加する予定です。

卒業生の方で企業体験談をお話して下さる方を広く募集しています。回りの OB、OG の方にもお声掛けいただき、是非参加していただければと思います。

企業 OB 会の活性化ご協力のお願い

一昨年度発足し活動を開始いたしました、「企業 OB 会」ですが、現在まだ 6 社の OB からの担当承諾となっております。卒業生の方で本「企業 OB 会」に参加いただける方を広く募集しています。是非ともご協力お願いいたします。

学内講義への OB 紹介

4 年連続で、1 年生対象の「電気電子情報入門」に 2 回、3・4 年生院生対象の「電子情報特別講義」に 5 回、講師を派遣いたしました。現役学生に対し、卒業生・社会人としてアドバイスや業界・企業情報を提供し、学生からは大変好評です。本学内講義への OB 参加につきまして、同窓会員の方々で我こそはという方は是非同窓会役員までご連絡ください。

同窓会ホームページのリニューアル

「準会員制度（学生会員）」により、同窓会派遣 OB による電子情報特別講義の資料の一部を、ホームページから閲覧できます。翌週のレポート提出に向け、学生が資料閲覧できるので大変好評です。このように、同窓会のホームページは大変便利かつ情報が盛りだくさんになっています。学生と OB をつなぐ連絡用フォームもありますので、お気軽にご利用ください。



神大テクノフェスタ同窓会ブースの 1 コマ

「準会員」コーナー

ここでは去年度から施行されて準会員制度で新しく準会員となった現役学生の「声」を紹介し、卒業後に新たな同窓生となる学生の“今”の声に耳を傾けてはいかがでしょうか？

(大学における同窓会主催 OB 講和の感想より)

○今回の話は OB の方だけあって、すごくためになりました。勉強するだけではなく、たまには遊びを入れて、自分の大学生活に幅をつけることや社会人になったときの心構え、大学の勉強だけではなく、大学卒業後にどのような進路で、何が自分に身につくのか等、本当にためになりました。僕は本を読むことが苦手なのですが、大学生活中に克服したいです。OB 講話、本当にありがとうございました。(1年生)

○同窓会というと昔の知り合いの集まる会のイメージがあったが、テクノフェスタへの参加や業界の説明、就職活動の相談や模擬面接とエントリーシートの添削など想像していたより様々な活動をしていることがわかり感心した。また OB からのアドバイスの「遊びも大切(引きこもりは駄目)」や入社後の心構えは、ためになった。参考にしたい。(1年生)

同窓会会員の声 ～通信欄より～

昭和 26 年卒 木村 三男 様

母校のすばらしい発展ぶりを見てうれしい限りです。

昭和 29 年卒 登坂 重治 様

現在でも剣道を行っており、神大剣友会の会長を努めさせています。神大剣道部の主たる行事には出来る限り出席し、学生を応援しております。

昭和 31 年卒 黒飛 勝幸 様

「(社)宮陵会」広島県支部で活躍しております。同窓会活動報告、卒業生の声等を見て、うれしく思います。

昭和 33 年卒 秋田 琢次様

幹事の皆様ご苦勞様です。会の盛会を祈る。

昭和 33 年卒 鈴木 莊泰 様

元気で余生を送っています。何かと多忙な毎日です。

昭和 33 年卒 三橋 清通 様

NPO 法人 MACH B&F にてミラクルビークル(空飛ぶ自動車)の研究とアドバイザーを続けております。後輩の方々に講義をすることは可能です。

昭和 35 年卒 中村 治郎 様

元気に暮らしています。

昭和 37 年卒 斉藤 和雄 様

おかげ様で元気にやっております。

昭和 38 年卒 市山 巖 様

同窓会の御盛況をお祈り申し上げます。

昭和 40 年卒 村井 正 様

町内会長を引き受けてますので多忙ですが、元気で毎日楽しく元気に暮らしております。

昭和 40 年卒 松尾 攻 様

コンバータの研究を続けています。71 歳になりました。昔には戻れませんが、青春時代を超える技を磨いているつもりです。博士(工学)と電検 I 種は手にしたので、新たに次のチャレンジの準備中です。

昭和 41 年卒 大須賀 勝男 様

週 1,2 回の水泳、月 3 回の江ノ島でのヨットで人生最後を楽しんでおります。

昭和 42 年卒 石塚 隆久 様

同窓会の盛会と電気工学科の躍進を祈念します。古希を迎え、横浜が遠く感じられるようになりました。

昭和 42 年卒 梅津 収二郎 様

地方で手伝うことがありましたら連絡を頂ければと思います。

昭和 54 年卒 伊藤 正道 様

相変わらず元気でやっております。後 2 年半で停年です。早いものです。

同窓会会員の声を募集します！

会員間の連絡や旧交を温める場として本会報をご利用下さい。同窓会総会の出欠はがきの通信欄やメール等でご投稿いただければ掲載いたします。連絡の際にはご氏名、氏名の掲載可否、できるだけ卒業年次をご記入下さい。皆様のご投稿をお待ちしております。

事務局からのお知らせ

同窓会活動参加者募集中！

「同窓会活動報告」でお知らせしたように、現在の同窓会では活発な同窓会作業を行い、学科の発展に努めています。我こそは！と思われるかたはぜひとも幹事会までご一報下さい。

平成 26 年度総会開催案内

今年度の同窓会総会・懇親会も大学主催のホームカミングデーに合わせ、**10月19日(日)**に開催されます。今年度は退職された先生方も含めて多くの現職教職員が参加予定です。多数の会員の皆様方のご参加をお待ちしております。なお、ご出席・ご欠席のご連絡を**10月10日**までに同封のはがきか、または同窓会 E-mail アドレス宛にご連絡下さい。ホームカミングデーにも参加される方は、はがきのホームカミングデー出席欄にチェックされるか、または、同窓会 E-mail アドレス宛にてお知らせ下さい。

同窓会 HP 新アドレス

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>
同窓会代表アドレス：dousokai@or.tv

許研究室 OB 会のお知らせ

許研究室の OB 会が同窓会総会と同日の**10月19日(日)**に神奈川大学横浜キャンパスで行われ、ホームカミングディと同窓会総会との間の時間帯に実施されます。詳しくは幹事の平岡先生 (hiraoka@kanagawa-u.ac.jp) までご連絡下さい。

同窓会のホームページについて

現在、随時会員が参加しやすいように、メニュー形式の HP にリニューアルしております。総会や各種のイベントの写真をスライドショーにて表示可能とし、過去の同窓会会報も入手できます。連絡用のフォームもありますのでお気軽にご利用下さい。

☆☆☆同窓会 HP アドレス☆☆☆

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

HP アドレスの QR コード



各行事の担当幹事の連絡先

同窓会幹事会行事の参加連絡先

学外幹事：河上：upstream446@yahoo.co.jp

大槻：otsuki@jdserv.co.jp

学内幹事：平岡：hiraoka@kanagawa-u.ac.jp

土屋：kenshin@kanagawa-u.ac.jp

神大テクノフェスタに関する幹事の連絡先

学外幹事：輪島：waji@jp.fujitsu.com

増淵：doubleyellow1231@yahoo.co.jp

学内幹事：同窓会幹事と同じ

同窓会からのお願い 会費と現住所について

・ 会費の払い込みについて

平成 26 年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座（00200-8-42851）にお振り込みください。年会費 2 千円で、その際卒業年度、1 部、2 部・大学院卒を必ずご記入ください。本同窓会は神奈川大学の同窓会であり「社宮陵会」とは別組織となっております。その点をご理解して戴き、ご支援・会費の納入をお願いいたします。※本年度会計報告・来年度予算案は総会にて報告後 HP に掲載予定です。

・ 現住所の連絡について

住所変更がありましたら同封のハガキ、FAX:045-491-7915、E-mail:dousokai@or.tv または会費払込の際に通信欄にてお知らせください。本同窓会会員の住所は「社宮陵会」のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにお願い致します。